

# 新聞紙の巨大一遍上人

松山でワークショップ

大学生ら オブジェ作り挑戦



関口さん(右から2人目)と一遍上人の顔を制作するワークショップ参加者

新聞紙とガムテープで立体作品を制作する造形作家・関口光太郎

二つ折りで積み上げ高さ3メートルになる量の新聞紙と100個以上のガムテープを用

さん(31)は埼玉県川口市のワークショップが23、24の両日、松山市文京町の松山大であり、学生らが「温泉を築む巨大な一遍上人」のオブジェ作りにチャレンジした。愛媛大と松山大の連携事業の一環。学生が芸術に触れるきっかけをつくり、多様な価値観を知ってもらおうと実施した。

意。参加者は新聞紙を丸めてガムテープを巻き、一遍上人の顔や手足を作り上げた。関口さんは「まゆ毛の角度で感情を表せる」などとアドバイスしていた。企画した愛媛大大学院1年の鈴木万葉さん(23)は「知らない人と、意見を出し合って作り上げるのが楽しい」と制作に没頭。関口さん

は「手や体を動かすことでインスピレーションが生まれることを感じてほしい」と語った。

(岩田太)